

平成26年3月13日

各 位

会社名 株式会社メディビックグループ
代表者名 代表取締役社長 喜多見 浩次
(コード番号 2369 : 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員管理本部長 窪島 肇
(Tel: 03-5439-9691)

メディカル ビッグデータ サービスリリースのお知らせ

わが国では、世界でも類を見ない速度で高齢化が進行しており、2012年における65歳以上の高齢者人口は、過去最高の3,079万人となり、約4人に1人が高齢者となっています。上昇し続ける高齢化率は、2060年には39.9%に達し、国民の約2.5人に1人が65歳以上の高齢者となる社会が到来すると推計されています。(平成24年版 高齢化社会白書より)

厚生労働省が発表した2011年度の国民医療費は、約38.6兆円で、毎年1兆円以上増加しており、高齢化率の上昇は、医療費の増加に直結しています。

この問題は企業の健康保険組合の財政も圧迫し続けており、健康保険連合組合によると、現在8割超の組合が経常赤字であり、赤字総額は4500億円を越す見通となっております。これは最終的には、企業のコスト負担となり、キャッシュフローを減少させ企業価値に影響する問題となります。

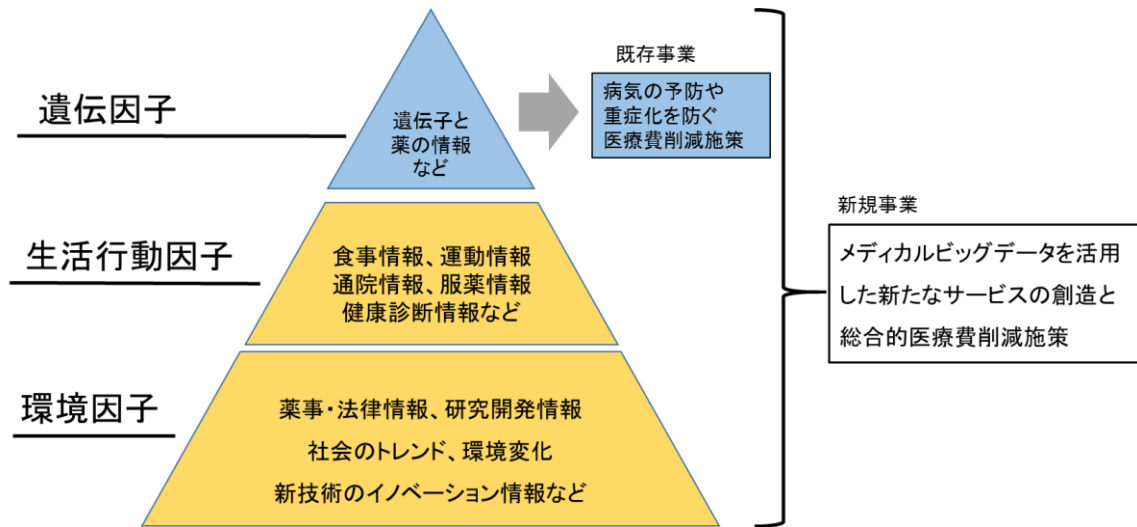
高齢化による医療費の増大は、個人・企業や組織・国家をも揺るがす大きな問題であり、それぞれの立場や視点に合った解決策が急務と考えて言います

株式会社メディビックグループ(本社:東京、代表取締役社長:喜多見 浩次)は、「最適医療のプラットフォーム」の構築を目指して、「予防医療」にフォーカスした事業を展開してまいりました。予防医療には、「母集団全体に対してアプローチする方法」と「病気のハイリスク集団にターゲットを絞り込みアプローチする方法」の2つがあります。これまで当社グループは、遺伝子検査によりハイリスク集団を事前に分析、抽出することで、病気の予防と重症化を未然に防ぎ、最終的には医療費の削減につなげる方針のもと、

バイオマーカー探索事業として「遺伝子と薬の関係」や、「遺伝子と病気の関係」に関与する遺伝因子を探し出す技術を蓄積してきました。

現在提供している“遺伝因子”に注力した既存事業に加え、“行動・生活因子”や“環境因子”の様々なデータを統合し、リアルタイムに分析することで、さらに予防医療を推進するビッグデータサービスを提供していきます。日々変化し増え続ける膨大な健康・食事・医療・研究関連情報など様々なデータを統合し、多角的な情報分析を実施する技術を用いて、「予防医療」「生活改善」「マーケティング支援」など医療費削減の仕組み作りを支援してまいります。

【メディカル ビッグデータ 概念図】



上記サービスを実施するにあたり、遺伝子配列情報、テキスト情報、画像情報、音声情報と様々なデータ統合と、情報解析エンジンが必要となりますが、世界最先端のテクノロジーとして多くの導入実績を持つ日本ヒューレット・パッカード株式会社のHP IDOLを活用して、メディカル ビッグデータのサービスを構築し販売していきます。

国家成長戦略の一つでもある予防医療。その対象となる関連市場範囲は多岐にわたりますが、当社は本サービスの第1弾として、データヘルス計画への早急な対応に迫られる企業の健保組合をターゲットとしています。

生活習慣病やがんのハイリスク健常者抽出や個別健康指導サービスにより、初年度に1億円の売り上げを目指す計画を立てています。

また、ここで発生するデータの価値は分析力に応じて、一次利用、二次利用、さらには三次利用としても可能となり、総合的に医療費削減に活用していきます。

HP IDOLは、患者の診療履歴や健診結果データ等の構造化データと同様に、音声、動画、ソーシャルメディア、電子メール、ウェブコンテンツをはじめとした多様な非構造化データに内包されるコンテキスト（個人的、環境的な背景や文脈）の理解と対応をリアルタイムで行うことを可能とする解析エンジンです。これまでの導入事例としては、米国エンロン事件での不正証拠探索、セキュリティー・システムとして採用されたロンドンオリンピックでのテロ活動の未然防止、など、全世界で3万件以上の組織における実績を有しています。海外医療分野では、最新臨床データを自動的に収集するテクノロジーにより、患者が話す問診内容をインプットとして自動的に診断結果を提示するまでの仕組みが実現されています。

このサービスの共同開発パートナーとして、HP IDOLテクノロジーを軸とした解析に多くの実績を有するデータ・サイエンティスト集団、株式会社ポイントスリー（本社：東京、代表取締役社長：藤田 亨）を選定いたしました。同社は、ビッグデータ時代ならではの分析力と実行力をクライアント企業の業務に組み込むための各種ソリューションを統合的に提供しているコンサルティング会社です。海外先進事例を基にした戦略的データマネジメントによるマーケティング、コンプライアンス領域でのデータ解析実績は、我々の事業においても新たな視点を提供してくれるものと考えています。

当社の蓄積したノウハウに新たなテクノロジーを掛け合せた今回の新規事業は、世界に先駆けて進む超高齢化社会を乗り越えるモデル発見につなげる取り組みとなります。



【メディカル ビッグデータ サービスイメージ図】

【株式会社メディビックグループについて】

「最適医療のプラットフォーム」の構築を目指して、遺伝子検査、再生医療、検体バンキングなどの事業を展開しております。

さらに詳しい情報は、<http://www.medibic.com> をご覧ください。

【日本ヒューレッド・パッカード社 HP IDOLについて】

次世代高度情報管理プラットフォームHP IDOL は、顧客履歴やセンサーデータ等の構造化データと同様に、音声、ビデオ、ソーシャルメディア、電子メール、ウェブコンテンツをはじめとした非構造化データに関するコンセプト、文脈の理解と対応をリアルタイムで行う、統合されたシングルデータプロセッシングレイヤーです。

さらに詳しい情報は、<http://www.autonomy.co.jp> をご覧ください。

【株式会社ポイントスリーについて】

調査分析レポート、戦略的データマネジメントに関するコンサルティング・システム構築など、ビッグデータ活用に関するサービスをワンストップで提供しています。

さらに詳しい情報は、<http://www.point3.co.jp> をご覧ください。